

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2011年6月26日現在

概況 オレゴン州の2011年6月26日に終わる1週間の気象は、降雨の少ない温暖な気象となった。Willamette Valleyの最高気温は80~84度Fまで上がった、最低気温は41~48度Fであり、平均気温は平年を2~5度F下回った。同地区の1週間の降水量は殆ど記録されなかった。今期初めての乾燥した気象であった。NC地区の気温も上昇し最高気温は83~91度Fとなった。最低気温は低目であり、平均気温は平年4~6度F下回った。NC地区の1週間の降水量はゼロであった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.9日(前週:6.1日)となった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は、前週より“Surplus”と“Adequate”が減少し、“Short”が増えた。冬小麦は全州にて出穂を概ね完了(昨年より1週間遅れ)し、開花以降となった。NC地区のSherman郡の土壌の浅い圃場では、土壌水分不足と高温により小麦にストレス(小麦が紫色となる)が見られ、1週間前の状態から一転した。冬小麦のRustは未だに問題であったが、開花以降となり薬剤散布は行われていない。冬小麦の作柄は、昨年より良い評価であった。春小麦の生育は気温の上昇により好転し、作柄評価が上がった。

2011年6月26日現在：土壌水分(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	1	18	74	7
	Last week	0	10	80	10
Subsoil	This week	0	10	84	6
	Last week	0	5	86	9

2011年6月26日現在：冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Headed	99	90	100	98

2011年6月26日現在：冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	2	10	68	19
Last week	1	4	13	62	20
Last year	1	6	21	57	15

2011年6月26日現在：春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	1	10	71	18
Last week	1	1	12	68	18

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2006,2007,2008,2009 and 2010 crop years

以上